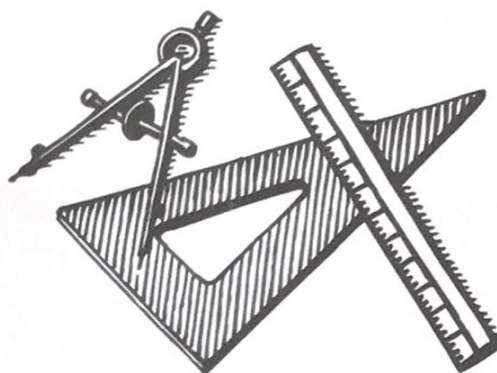


SYLLABUS

令和5(2023)年度



枚方市立中宮中学校 3年

<本校における通知表評価の方法>

大阪府公立高等学校入学者選抜で目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）が導入されることに伴い、枚方市では通知表の形式及び評価の算出基準を市内の中学校で統一しています。この評価方法は、各教科が設定した評価の観点及び評定（総括的評価）の到達目標に照らしてその実現状況を見るものです。

【観点別学習状況評価】

◎ A, B, Cの記号により3段階で評価します。

A：十分満足できる	…	観点ごとの満点の	75% 以上
B：おおむね満足できる	…	//	40% 以上
C：努力を要する	…	//	40% 未満

【評定】

各観点の観点別学習状況評価を数値化し、その合計点と観点別得点合計の両方を考慮して算出する。（両方の数値ともに満足することが必要）

① ABCの数値化 A：3点 B：2点 C：1点

② 両方のカッティングは以下のとおりとする。

評価	内容	観点評価合計	観点別得点(素点)合計
5	十分満足できるもののうち、特に程度が高い	9点	85%以上
4	十分満足できる	8点以上	75%以上
3	おおむね満足できる	5点以上	40%以上
2	努力を要する	3点以上	
1	一層努力を要する	3点	20%未満

※各教科の評価材料については、「シラバス」（授業の大まかな学習計画のこと）を参照

【3学期の通知表】

3学期の通知表は、観点別学習状況評価及び評定ともに年間を通しての評価となります。また「総合的な学習の記録」「行動の様子」についてもあわせて記載します。

【通知表みほん】※実物はA4の大きさです。

1学期		年	組	番	
学習のようす			特別活動の記録		
国語	知識・技能	観点別学習状況	評価	評定	学級活動
	思考・判断・表現				委員会
	主体的に学習に取り組む態度				部活動
社会	知識・技能				
	思考・判断・表現				
	主体的に学習に取り組む態度				
数学	知識・技能				
	思考・判断・表現				
	主体的に学習に取り組む態度				
理科	知識・技能				
	思考・判断・表現				
	主体的に学習に取り組む態度				
音楽	知識・技能				
	思考・判断・表現				
	主体的に学習に取り組む態度				
美術	知識・技能				
	思考・判断・表現				
	主体的に学習に取り組む態度				
保健体育	知識・技能				
	思考・判断・表現				
	主体的に学習に取り組む態度				
技術・家庭	知識・技能				
	思考・判断・表現				
	主体的に学習に取り組む態度				
外国語(英語)	知識・技能				
	思考・判断・表現				
	主体的に学習に取り組む態度				

	授業日数	欠席日数	出席・急引	出席日数	遅刻	早退
1学期						
計						

所見

校長印	担任印

※3学期の通知表は、「道徳」「総合」の評価が加わりますので、デザインが変更されます。

枚方市立中宮中学校 第3学年 国語科シラバス

○学習目標（教科の到達目標）

自分の見方・考え方、他者の見方・考え方を、言葉によって表現する、理解するという言語活動を通して、国語で物事を正確に理解し、適切に表現するという資質、能力を伸ばす。

- (1) 言葉の意味や文章の読み取り、表現の仕方を学び、国語の特質を理解し、適切に使えるようになる。
- (2) 他の人と関わる中で、言葉で伝え合う力を身につけ、考える力や想像する力を高める。
- (3) 国語の大切さを知り、言葉に対する感覚を豊かにし、大切に丁寧に言葉を使えるようになる。

○指導の重点目標

- ・ 「学び」とは、君たちが「すでに知っていること・体験していること」と「新しく学ぶこと」をつなげていくものです。だから、答えは一つではありません。学んでいく君たちの数だけ答があり、「学び」があります。授業を「受ける」だけでなく、自らすすんで、考え、学んでいきましょう。
- ・ 「対話」は、「相手との対話」、「自分との対話」「教材との対話」の三つがあり、それぞれの活動を通して、自分の「学び」を深めていきましょう。
- ・ 答を見つけるために、みんなが考えを出し合うことが最も大切です。お互いを認め合い、みんなが安心して発言できる学習環境をつくっていきましょう。

○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

- ・ 教材ごとに「つけたい力」を確認し、「つけたい力」をつけるために、自ら積極的に取り組む。
- ・ 「わかること」より「わからないこと」を大切に、「わからないから教えて」と訊くことから授業が始まる。
- ・ 訊かれたら、その人がわかるまで丁寧に教える。教えてもらったら、もう一度自分の言葉で説明してみる。

○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	1. 豊かに想像する 2. わかりやすく伝える 3. ものの見方・感性を養う ・書写	・岩が ・握手 ・グループディスカッション ・「批判的に読む」とは ・間の文化 ・課題作文 ・俳句の世界 ・俳句十句 ・批評文 ・希望 ・書写	・言葉の力を伸ばすために、積極的に語句の意味や使い方、漢字などを学ぼう。 ・自分の意見や考えを根拠を明確にしなが、書いたり話したりするなどの表現する力をつけよう。
2 学 期	4. 論理的に考える 5. 古典に学ぶ 6. 情報を関係づける ・書写	・フロン規制の物語 ・パブリックスピーキング ・和歌の世界 ・おくのほそ道 ・論語 ・情報社会を生きる ・広告の読み比べ ・ポスター ・書写	・ペアワークや班学習で、ほかの人の意見を聞くことで、自分の考えや意見を見つめ、さらなる深い学びを得る。
3 学 期	7. 読みを深め合う 8. 視野を広げる	・初恋 ・故郷 ・「文殊の知恵」の時代 ・坊っちゃん ・名言集	・国語の授業の中に自分自身なりのおもしろさやがんばる点を見つけ、前向きな姿勢で取り組もう。

○通知表の評価について

評価の観点	評価の方法
① 知識・技能	30%（定期テスト・小テスト・授業課題など）
② 思考・判断・表現	40%（定期テスト・小テスト・授業課題など）
③ 主体的に学びに向かう態度	30%（授業態度・提出物など）

枚方市立中宮中学校 第3学年 社会科シラバス

○学習目標（教科の到達目標）

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

○指導の重点目標

- ・ 言語活動を通じて、自分の考えをまとめる力を育成する。
- ・ 社会認識をとおして、公民的資質を育成する。
- ・ 視聴覚教材の地図や写真などを使い、興味や関心を持って取り組めるようにする。

○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

学校 ……忘れ物をせずきちんと話を聞き、班で話し合い、ノートをまとめるようにしましょう。
 家庭 ……授業で聞いた内容の復習を、一日10分でもいいので必ずしましょう。新聞やニュース（配布されるコラムなど）に興味を持って見るというのも社会を勉強する上で大切なことです。

○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	【歴史】 第7章 現代の日本と私たち 【公民】 第1章わたしたちの生活と現代社会	戦後の日本がどのようにして発展してきたのかを、現在の世界情勢と関連させて学習します。	基本的な用語を理解し、その事に対して自分の考えを述べたり、その用語を使ってレポートを作成したりして、覚えるだけでなく、使えるようにしましょう。
2 学 期	第2章人間の尊重と日本国憲法 第3章現代の民主政治と社会 第4章わたしたちのくらしと経済	国民の権利や自由、政治、経済の仕組みを学びます。	政治の仕組みや経済の仕組みなどは、現在日常に起きている出来事との関わりで理解することが重要です。日ごろから新聞・テレビの報道番組などを興味を持って見てください。地理・歴史の復習は、問題集で計画的にやっておいてください。（定期テストで出題します）
3 学 期	第5章地球社会とわたしたち 総復習	国際政治、世界平和、地球社会の抱える諸問題について学びます	

○通知表の評価について

評価の観点	評価の要素及び評定（5段階）にしめる割合
①知識・技能	定期テストの「知識・技能」 (40%)
②思考・判断・表現	定期テストの「思考」、レポート等 (30%)
③主体的に学習に取り組む姿勢	授業に取り組む姿勢・振り返りシート ノート、宿題、その他提出物 (30%)

枚方市立中宮中学校 第3学年 数学科シラバス

○学習目標（教科の到達目標）

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

○指導の重点目標

- ・ 計算力などの基礎学力の定着をめざす。また読解力や書く力・伝える力をはじめとする表現力の育成をめざす。
- ・ 自ら学びに向かう力の育成、他者とのコミュニケーションによって深まる思考力、さらにレポート課題などを通して、学習内容を自分の興味や関心と結びつけ考えられる力の育成をめざす。
- ・ 数学的な見方、考え方を、日常生活の中で利用する姿勢を育む。

○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

- 学校 しっかり授業を聞き、考えましょう。また自分の考えを他者にもわかりやすく伝え、自分の表現力・思考力の向上をめざしましょう。
- 家庭 授業で間違えた所、分からなかった所を教科書やドリルパークなどで復習しましょう。

○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	・ 式の展開と因数分解 ・ 平方根 ・ 二次方程式	・ 式の計算の利用 ・ 根号を含む式の計算 ・ 平方根の利用 ・ 二次方程式の利用	正確な式の計算と因数分解，根号を含む計算ができるように日々，問題に取り組みましょう。
2 学 期	・ 関数 $y = ax^2$ ・ 図形と相似 ・ 円の性質	・ 関数とグラフ，値の変化 ・ いろいろな事象 ・ 平行線と線分の比 ・ 相似の利用 ・ 円の性質の利用	関数ではともなって変わる2つの数量関係を表・式・グラフで表現できるようにしましょう。 図形では根拠を明確にして，証明を書いたり，定理を利用して問題を解くようにしましょう。
3 学 期	・ 三平方の定理 ・ 標本調査とデータの活用	・ 三平方の定理の利用 ・ 標本調査	三平方の定理ではこれまでに学習した図形の性質や面積・体積の求め方が必要になります。一つ一つ振り返りながら勉強しましょう。

○通知表の評価について

評価の観点	評価の方法	割合
① 知識・技能	定期テスト	40%
② 思考・判断・表現	定期テスト・授業や課題への取り組み	30%
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業や課題への取り組み	30%

枚方市立中宮中学校 第3学年 理科シラバス

○学習目標（教科の到達目標）

身近な自然の現象について、自分の言葉で説明できるようにし、基本的な実験・観察の技能を身につけ、ICTについても活用できるようにする。

○指導の重点目標

- ・身近な自然の現象について、自分の言葉で説明する力を身につける。
- ・実験・観察を実行する力を身につける。
- ・実験・観察の結果を処理する力を身につける。
- ・実験・観察の結果を分析・解釈する力を身につける。
- ・考察・推論したことや結論を発表させたり、レポートにまとめたりする力を身につける。

○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

- 学校 …… 自分の考えを持つようにしましょう、他人の考えを聞いてより深めていこう。
 家庭 …… その日に学習した内容が身のまわりの出来事とどのようにつながっているか考えてみよう。

○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	[生命] 生命の連続性	・生物の成長とふえ方 ・遺伝の規則性と遺伝子	・生物が成長するとき、細胞はどうなるのか。生物はどのようにして子孫を残すのか。また、遺伝にはどのような規則性があるのかを理解しよう。
	[物質] 化学変化とイオン	・水溶液とイオン ・酸・アルカリと塩	・水溶液中で電流を通す正体となるものは何か。酸やアルカリの正体は何かを理解しよう。
2 学 期	[エネルギー] 運動とエネルギー	・力のつり合い ・物体の運動 ・仕事とエネルギー ・多様なエネルギーとその 移り変わり ・エネルギー資源とその利用	・物体にはたらく力の間には、どのような規則性があるのか。力と物体の運動の間にはどのような関係があるのか。仕事やエネルギーとは何か。エネルギーにはどのようなものがあるのか。エネルギー資源はどのように利用されているのかを理解しよう。
	[地球] 宇宙の中の地球	・地球とその外側の世界 ・太陽と恒星の動き ・月と金星の動きと見え方	・太陽や星はなぜ動いて見えるのか。太陽のまわりを回る天体には、どのような特徴や規則性があるのか。みずから光かがやく星には、どのような特徴があるのかを理解しよう。
3 学 期	[環境] 自然と人間	・自然界のつり合い ・人間と環境 ・自然が人間の生活におよぼす影響 ・科学技術と人間 ・科学技術の利用と環境保全	・生物の間にはどのようなつながりがあるのか。人間は、自然環境とどのようにかかわっているのか。人間は、自然からどのような災害や恩恵を受けているのか。科学技術の進歩は、わたしたちの生活に何をもたらしたのか。今後も自然と人間が共存していくにはどのようにすればよいかを理解しよう。

○通知表の評価について

評価の観点	評価の要素及び評定（5段階）にしめる割合
①知識・技能	レポート・定期テスト 40%
②思考・判断・表現	定期テスト・レポート 30%
③主体的に学習に向かう姿勢	授業態度・提出物 30%

枚方市立中宮中学校 第3学年 音楽科シラバス

○学習目標（教科の到達目標）

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ生活や社会の中の音や音楽・音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

○指導の重点目標

- ・ 幅広い音楽活動を通して、音楽に対する感性を磨き、豊かな情操を養う。
- ・ 生活や社会の中にある音楽や音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。

○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

学校・・・実技重視ですので、思い切って表現しましょう。挑戦の気持ちを忘れずに。

表現の意図について、自分の言葉で説明できるようにしましょう。

家庭・・・幅広い音楽に関心を持ちましょう。

○学習内容と学習のポイント

単元名	学習内容	学習のポイント
歌唱	「詩や曲の背景を理解し、表現を工夫しよう」 「全体の響きや各声部の役割を生かして、表現を工夫しよう」 「歌詞と旋律の関わりに注目し、表現を工夫しよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に iPad(Classroom)で学習内容を確認しておきましょう。 ・ 学習内容、自分やクラスメイトの演奏などをしっかり「聴く」ことを意識しましょう。 ・ 毎授業後にふりかえりを行い、次回への学習へとつなげましょう。 ・ 欠席した場合、classroomなどで学習内容を確認しておきましょう。
器楽	「曲の構成を理解し、リズムアンサンブルに取り組もう」 「曲の構成を理解し、豊かな表現へとつなげよう」	
鑑賞	「ポピュラー音楽を聴いて、そのよさを味わおう」 「環境や時代に伴って広がる無限の音楽の広がりを感じよう」	
創作・理論	「曲の構成を感じ取り、リズム伴奏を工夫しよう」 「想いをこめて旋律をつくろう」	

○通知表の評価について

評価の観点	評価の方法	
① 知識・技能	実技テスト・小テスト・提出物など	35%
② 思考・判断・表現	実技テスト・提出物など	35%
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み・提出物など	30%

枚方市立中宮中学校 第3学年 美術科シラバス

○学習目標（教科の到達目標）

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の発展的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

○指導の重点目標

- ・自分の思いを的確に表現するために、基礎的な知識・技能を身につける。
- ・唯一無二の作品を目指して粘り強く制作を進め、達成感を得る。
- ・経験を通して、美術や文化について理解を深め、感性を磨く。
- ・作品を展示、鑑賞することで、違いを認め合い、仲間を大切にする豊かな心を育む。

○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

- 学校 ……チャイムまでに自主的に制作準備をし、限られた時間の中で精いっぱい課題に取り組み
 「まだ見ぬ 自分に出会う」ためにも、片付けもきちんとやり道具や作品を大切にする。
- 家庭 ……日々美しいものを見て、感性を磨く。（小学校の絵の具セットは自宅で保管）

○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	工芸 絵画 〈期末テスト〉 絵画	篆刻 自画像 風景写生画	・天然石に小篆体を中心にデザインした自分の名前を 印刀で丁寧に彫って完成させよう。 ・自分の姿を見つめ、15歳の自分にしか描けない自 画像に挑戦しよう。 ・夏休みに花や緑、人物のいる風景を、よく観察して 豊かな色彩で着彩してあげよう。
2 学 期	彫塑・絵画 〈期末テスト〉 鑑賞	粘土のサインボ ード	・紙粘土の可塑性を存分に活かし、動物などをリアル に半立体で表現し、補色を理解して着彩する。さら にカラーワイヤーで名前を筆記体で仕上げた立体的 で独創的な美しい表札にしよう。（卒業記念作品） ・友達の作品を鑑賞し切磋琢磨しよう。
3 学 期	彫塑 鑑賞	鈕（篆刻の持ち手） 卒業記念色紙	・直方体から完成形を想像し、棒やすりで5つの面か ら削り出し、丁寧に磨いてユニバーサルデザインで 美しい持ち手を造ろう。 ・クラス全員の篆刻を1枚の色紙に「寄せ押し」をし て、お互いの作品をじっくり味わおう。

○通知表の評価について

評価の観点	評価の要素及び評定（5段階）にしめる割合
① 知識・技能	プリント・ 試作 ・テスト（知識）など 35%
② 思考・判断・表現	構想 ・作品・ テスト（実技）など 40%
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業の様子・ 振り返り・ レポート・ 夏休みの宿題など 25%

枚方市立中宮中学校 第3学年 保健体育科(男) シラバス

○学習目標（教科の到達目標）

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

○今年度の重点目標

- ・明確な課題目標を設定し、その目標達成に向かって協働的・主体的に取り組む態度を養う。
- ・ICTを活用する場面を設定し、生徒が主体となって問題を解決する力を養う。

○指導の重点目標

- ・基礎的な運動能力や総合的な体力を養う。
- ・仲間を大切にし、互いに助け合って技術を向上させる。
- ・スポーツに興味・関心を持たせるとともに、生涯にわたってスポーツを主体的に楽しむ生徒を育てる。
- ・保健や環境衛生面での知識を持たせる。
- ・自ら学び、考え、行動する力を身につけさせる。
- ・体育理論の分野を取り入れ、スポーツを総合的に学ばせる。

○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	・体づくり運動 ・体力テスト・陸上 ・水泳 ・保健・体育理論	・集団行動・体力テスト ・走り高跳び・リレー ・クロール、平泳ぎ ・健康と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の方法や理論（ルール）について理解するとともに、技術の向上を図る。 ・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 ・課題目標の達成に向かって、互いに学び合い、主体的に取り組む。
2 学 期	・水泳・器械運動 ・ハンドボール ・陸上・バレーボール ・保健・体育理論	・個人メドレー・マツト ・パス、シュートゲーム・持久走 ・スパイク・サーブ・ゲーム ・健康な生活と病気の予防	
3 学 期	・サッカー ・バスケットボール ・卓球、バドミントン ・保健・体育理論	・パス、シュート、ゲーム ・ルール理解、ゲーム ・文化としてのスポーツの意義	

○通知表の評価について

評価の観点	評価の要素及び評定（5段階）にしめる割合
① 知識・技能	技能テスト、単元テスト 50%
② 思考・判断・表現	振り返りやレポート、単元テスト 25%
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、欠席、見学、遅刻、忘れ物等 25%

○年間評価 1学期…105点 2学期…135点 3学期…60点の割合で評価します。

枚方市立中宮中学校 第3学年 保健体育科(女)シラバス

○学習目標（教科の到達目標）

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

○今年度の重点目標

- ・明確な課題目標を設定し、その目標達成に向かって協働的・主体的に取り組む態度を養う。
- ・ICTを活用する場面を設定し、生徒が主体となって問題を解決する力を養う。

○指導の重点目標

- ・基礎的な運動能力や総合的な体力を養う。
- ・仲間を大切にし、互いに助け合って技術を向上させる。
- ・スポーツに興味・関心を持たせるとともに、生涯にわたってスポーツを主体的に楽しむ生徒を育てる。
- ・保健や環境衛生面での知識を持たせる。
- ・自ら学び、考え、行動する力を身につけさせる。
- ・体育理論の分野を取り入れ、スポーツを総合的に学ばせる。

○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	・体づくり運動 ・バレーボール ・水泳 ・体育理論・保健	・集団行動、体力テスト ・スパイク・ゲーム等 ・四泳法 ・健康な生活と病気の予防	・運動の方法や理論（ルール）について理解するとともに、技術の向上を図る。
2 学 期	・リレー ・陸上、 ・ダンス ・器械運動 ・体育理論・保健	・バトンパス、リレー練習等 ・高跳び、持久走 ・ダンス ・マット運動 ・健康な生活と病気の予防	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。
3 学 期	バスケットボール ・サッカー ・各種スポーツ ・保健・体育理論	・シュート、ゲーム等 ・ゲーム、審判のルール等 ・卓球・バドミントン等 ・文化としてのスポーツの意義	・課題目標の達成に向かって、互いに学び合い、主体的に取り組む。

○通知表の評価について

評価の観点	評価の要素及び評定（5段階）にしめる割合
① 知識・技能	技能テスト、単元テスト 50%
② 思考・判断・表現	振り返りやレポート、単元テスト 25%
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、欠席、見学、遅刻、忘れ物等 25%

○年間評価 1学期…105点 2学期…135点 3学期…60点の割合で評価します。

枚方市立中宮中学校 第3学年 技術・家庭科シラバス

○学習目標（教科の到達目標）

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

○指導の重点目標

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を見いだす。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

学校 ……しっかりと話を聞き、授業に興味関心を持ち前向きにうけること。特に実習では、勝手な行動をしないで指示通り行うこと。

家庭 ……家の手伝いを積極的にすること。

○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
技術	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換 ・動力伝達のしくみと製作 ・情報に関する技術 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオの製作 ・オルゴール製作 ・情報に関する技術と役割 ・コンピュータの仕組みと基本操作 ・情報通信ネットワークの利用 ・生活の中にある計測・制御 	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換を利用した製作品を製作する。 ・目的に合わせて運動を変化させるためのしくみを考える。 ・社会における情報技術の役割を考える。 ・パーソナルコンピュータの簡単な操作ができるようになる。 ・情報通信ネットワークと情報セキュリティを理解する。 ・計測・制御システムの構成と動作について理解する。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの消費生活と環境 ・私たちの成長と家族・地域 ・幼児の生活と家族 	<ul style="list-style-type: none"> ・責任ある消費者になるために ・持続可能な消費生活を目指して ・家族・家庭と地域 ・幼児の体と心の成長 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の権利と責任を理解し、自分の消費行動を工夫する。 ・持続可能な消費生活を目指して課題と解決方法を考え、消費生活を工夫する。 ・家庭の様々なはたらきを理解し、家事に積極的に参加できる。家庭生活と地域の関りを理解する。 ・幼児の発達の特徴を知り、家族の役割について理解する。 ・幼児の遊びの特徴を知り、おもちゃを製作する。

○通知表の評価について

評価の観点	評価の方法	
① 知識・技能	作品・作品レポート・定期テスト	40%
② 思考・判断・表現	作品・レポート・発表・定期テスト	30%
③ 主体的に学習に取り組む態度	実習・レポート・振り返り	30%

枚方市立中宮中学校 第3学年 英語科シラバス

○学習目標（教科の到達目標）

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語 による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単 な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

○指導の重点目標

- ・外国語（英語）を学ぶことを通して、広く世界を知り、世界の様々な人々を尊重し、交流することの大切さを学ばせる。
- ・生徒のモチベーションを上げられるような題材を選び、学習した英語を実際のコミュニケーションに活用できるように指導する。
- ・NET(外国人英語実習助手)の授業を多く取り入れ、より実践的な英語コミュニケーション能力を身につけさせる。
- ・ICT 機器やデジタル教科書の活用について研究する。

○授業の進め方と家庭学習（※授業を受けるにあたっての留意点）

学校…忘れ物をしないこと。しっかりと話を聞くとともに積極的に活動に参加すること。

失敗を恐れず、ペアやグループなど、友だちと協力して、授業に参加すること。

家庭…授業での内容を復習し、出された宿題をしっかりとやること。また、「3年間の総まとめ問題集」にも取り組むこと。

単語や熟語など、何度も繰り返し学習し、スペルミスのないように丁寧に覚えること。

○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	Lesson1, 2, 3	現在完了進行形 受け身 現在・過去分詞の後置修飾、英作文	不規則変化動詞の活用を必ず覚えること。受け身、現在完了進行形、分詞の用法をしっかりと理解して使えるようになってください。
2 学 期	Lesson4, 5 Lesson6, 7 READING FOR FUN1	関係代名詞、後置修飾 仮定法 間接疑問文、いろいろな不定詞 英作文	関係代名詞、後置修飾、仮定法、間接疑問文、いろいろな不定詞の用法を理解し、使えるようになりましょう。長い文が出てくるので、単語ではなく句（語のまとまり）で意味をとらえるようにしましょう。
3 学 期	READING FOR FOR FUN2, 3	英作文 長文読解 リスニング	長文に慣れ、大まかな意味をとらえられるようにしましょう。入試に向けて英作文やリスニングにも積極的に取り組みましょう。

○通知表の評価について

評価の観点	評価の要素及び評定（5段階）にしめる割合
① 知識・技能	40% 定期テスト、小テスト、単元テスト、リスニングなど
② 思考・判断・表現	30% 定期テスト、スピーキングテスト、ライティングなど
③ 主体的に学習に取り組む態度	30% 提出物、レポート、ふりかえり、聞き取りメモなど